

【禁忌・禁止】

- ・ 再使用しないこと。[感染症のおそれ]
- ・ 本品に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往症のある患者には使用しないこと。[アレルギー発症のおそれ]
- ・ 滅菌しないこと [破損、劣化のおそれ]
- ・ 洗淨剤および消毒剤は素材に悪影響を及ぼし、患者に望ましくない反応を引き起こすおそれがあります。[破損、劣化のおそれ、患者への悪影響のおそれ]
- ・ 本品を口腔外科手術又はインプラント埋入手術時に使用しないこと。[感染症のおそれ]

【形状・構造及び原理等】

【形状】

本品は small と Regular の 2 種類のサイズがある。
ディスポーザブルタイプの歯科用開口器である。

【原材料】

- 熱可塑性樹脂
- ポリプロピレン

【原理】

本品は弾力性のある柔らかい樹脂でできており、患者の口腔形状に合わせて開口状態を保持することができる。

【使用目的又は効果】

【使用目的】

歯科治療で患者の開口状態を保持する

【使用方法等】

1. サイズ選択：唇を閉じた状態またはわずかに開いた状態のリラックスした口角間の距離に基づいてサイズを確認する
口腔軟組織を十分に牽引するには、内側リングの直径が口角距離より約 2 cm 広くなることが理想。
 - 口角間距離 ～6 cm ; Small
 - 口角間距離 ～7 cm ; Regularパッケージに印刷されているスケールは、サイズを確定する補助として使用することができる。口角間距離を決める場合には、力まずに唇が曲線を描く程度で行うことが重要。どちらかはっきりしない場合は、大きいサイズを選択すべき。
2. 患者が仰臥位の場合は 12 時の位置から、患者が座位の場合は 8 時の位置から（術者が左利きの場合は 4 時の位置から）挿入する。
3. タブを下に向けて、薄いアウターリングを通して厚いインナーリングを親指と中指で挟み、わずかに圧縮して軽く押し付ける。（図 1 を参照）。

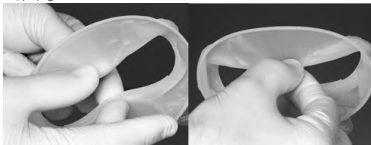


図 1: 正しい持ち方

4. わずかに圧縮されたインナーリングを片側の歯肉頬側粘膜部へ挿入。これにより、弾性部分が口角を包み込み、アウターリングは口腔外に位置したままになる（図 2 を参照）。



図 2: 口腔内リング配置

5. 片側でしっかりと固定できたら、反対側を少し曲げて同じ方法で挿入（図 3 を参照）。



図 3: インナーリング配置後

6. インナーリングを下唇と上唇の後ろに配置し、安定した位置に調整（図 4 を参照）。インナーリングの挿入をより簡単にするには、患者の口をリラックスしておくこと。



図 4: 最終的な配置。

口を完全に閉じたときにインナーリングが歯肉頬側粘膜部から滑り落ちるおそれがある。インナーリングを口腔前庭のより深い位置に配置することで回避できる。または、大きいサイズを使用することで解決できる可能性がある。

正しい配置で作業領域の全体的な視界とアクセス性が向上する。下顎を横方向に動かし、口をさまざまな角度に開くと、治療領域へのスペースとアクセスが広がる。本品を付けた状態で咬合を確認することもできる。

患者の咬合を妨げないためにアウターリングは口腔外に残し、2 つあるタブを下に向けて取り付け。（図 5 を参照）。



図 5: 装着時

7. 取り外すには、ペーパータオルを使ってアウターリングの上部をつかみ、わずかに下方に引っ張ってインナーリングを上歯肉頬側粘膜部から外す（図 6 参照）。その後、インナーリングを下歯肉頬側粘膜部から取り外し、ペーパータオルを使用して衛生的に廃棄する。



図 6: 取り外し方

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- ホワイトニング中は、皮膚や粘膜の炎症を防ぐため、本品と軟組織の間に漂白剤が挟まらないように注意すること。
- 廃棄は所在する自治体の条例に従うこと。
- 場合によって、圧力痕が残ることがあるので注意すること
- 記載された有効期限を過ぎた製品を使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- 保管温度 2～28℃
- 直射日光を避けて保管

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売元】

Ivoclar Vivadent 株式会社

電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

【製造元】

Ivoclar Vivadent AG（リヒテンシュタイン侯国）